

平成29年度
新潟大学歯学部同窓会学術セミナーⅡのご案内

歯の移植を成功に導くために
— 適応症から予後予測まで —

講師 松本歯科大学歯学部
顎顔面外科学講座 教授
芳澤 享子 先生



1990年3月 新潟大学歯学部卒業
1994年3月 新潟大学大学院歯学研究科修了
1998年4月 新潟大学歯学部口腔外科学第一講座 助手
1999年2月 米国ミシガン大学顎顔面口腔外科学講座留学
2000年3月 新潟大学歯学部附属病院口腔再建外科 助手
2011年8月 新潟大学医歯学総合病院口腔再建外科 病院講師
2013年7月 新潟大学医歯学総合病院口腔再建外科 講師
2016年4月 松本歯科大学歯学部口腔顎顔面外科学講座 教授

日時 2017年10月1日(日) 10:30~12:00

会場 新潟大学歯学部講堂 定員 50名

参加費: 4,000円

新潟大学歯学部同窓生で、同窓会費の新規および現在口座自動振替利用会員
さらに前納制度払い込み済み卒業後5年目以内の方は無料です。

今年度2回目のセミナーは、本学の20期生で長年本学で口腔外科の臨床・研究・教育にご尽力され、
2016年4月から松本歯科大学歯学部の教授に就任された芳澤享子先生に講師をお願いしました。

歯の移植は、機能していない歯を活用し、移植後に良好な治癒が得られれば正常歯と同様に機能することから、歯の欠損部を補う方法として有用な治療法の一つです。芳澤先生には歯の移植を成功に導くにはどうすればよいのか？あるいは何をすべきではないのか？について膨大な臨床研究データに基づいてご講演していただきます。

奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先 新潟大学歯学部同窓会学術部
gakujutsu@dent.niigata-u.ac.jp

歯の移植を成功に導くために一適応症から予後予測まで一

歯の移植は、機能していない歯を活用し、移植後に良好な治癒が得られれば正常歯と同様に機能することから、歯の欠損部を補う方法として有用な治療法の一つである。歯の移植には1950年代より主に歯根未完成歯移植が報告されてきた一方で、わが国で一般的に行われている歯根完成歯移植は主に1980年代より報告されてきた。しかしながら、ドナー歯の歯根完成度に関わらず、歯の移植における成功基準に関しては、歯根成長、歯髄の血行再生、歯根吸収の有無など、あくまで歯根未完成歯移植における要素が議論の中心であった。そしてAndreasen J.O.ら(1990)による歯根吸収発生機構の解明や小臼歯移植の予後因子の検討、Schwartz O.ら(1985)による根未完成、完成歯移植における予後因子の検討などにより、歯の移植において成功する要因は解明されたと考えられていたのではないかと想像される。しかし、わが国では成人の智歯を中心とした歯根完成歯移植が多いため、これまでの海外における研究成果と実際の臨床現場での問題点が乖離し、結果として、歯の移植は経験則的な治療と位置づけられてきたと思われる。演者の前所属機関である新潟大学歯学総合病院「歯の移植外来」では、歯の移植における移植歯を喪失するメカニズムや予後因子について解明するために、2001年12月より口腔外科、歯内療法、歯周病、補綴、矯正の専門医によるチーム医療と歯の移植のプロスペクティブ研究を開始した。同時にそれ以前の症例についてもレトロスペクティブに検討した。その結果、移植歯を喪失する最も多い原因は創傷治癒不良で、次いで歯根吸収であり、創傷治癒不良症例の多くはドナー歯と受容部とのサイズの不適合であった。また、歯根吸収症例には進行性と非進行性とがあり、進行性の症例ではドナー歯に歯根形態異常が認められ、なおかつ4mm以上の歯周ポケットや挺出、あるいはう蝕、修復処置、根管治療の既往のいずれかを認める頻度が高かった。さらに予後因子の研究では、Cox比例ハザード分析で年齢、根管治療の既往、複根、移植歯が上顎を説明変数とするモデルが選択されたが、これらの因子の組み合わせによっては移植歯喪失のリスクを170倍から3倍に減少できる可能性も示された。そこで、本講演ではこれら研究結果をもとに、歯の移植を成功に導くにはどうすればよいのか？あるいは何をすべきではないのか？について検討したいと考えている。本講演が新潟大学同窓会会員にとって診療の一助になれば幸いである。

申し込み方法

※セミナー申し込み方法はメール受付のみです。携帯電話から送信する場合は必ずドメイン(@dent.niigata-u.ac.jp)指定受信の設定をして下さい。

※メールの申し込み順に「申し込み確認票」をメール送信いたします。申し込み確認票に参加費の振込先及び入金期日を記載いたします。入金期日までに参加費をご入金下さい。

※以下の必要事項を新潟大学歯学部同窓会学術部(gakujutsu@dent.niigata-u.ac.jp)にメールでご連絡下さい。タイトルは「同窓会学術セミナーⅡ申し込み」として下さい。

必要事項 氏名:

出身大学:

卒業年度(何期):

メールアドレス:

※申し込み締め切りは平成29年9月22日(金)です。

※キャンセルの場合は、入金いただいた受講料の返金はいりません。代理出席は可能ですので、受講者が変更になる場合は事前にご連絡下さい。

※自家用車で来られる方は構内か近隣の有料駐車場をご利用下さい。